

月刊

クローヨン

育児をまじめにたのしく!

4

2016

2016年4月号 発行 2016年3月25日 発行所 クレヨンハウス 東京都港区南青山4-1-1 クレヨンハウスビル5F TEL:03-5561-1111

特集

愛で世界を変えていく ママ・パパ102人!

登場するのは↓ジャスティン・トルドーカナダ首相、
是枝裕和さん、tupera tuperaさん、森本千絵さん、
いしいしんじさん、ひょうりょうさん、
大橋マキさん、セヴァン・スズキさん……
ほか子どもの未来をつくるひとたち大集合!





「子育て支援」
ダウン症への
理解のため
バディウォーク
開催中。
黒木聖吾さん
NPO法人アクティビティ推進

p31

愛で世界を 変えていく ママ・パパ 102人!

「ママのカ」
子どもたちを放射能から守るため
知っておくべき情報を発信。
中山瑞穂さん NPO法人子どもを国キヤ

p36

子どもと生きていくと、
ネガティブでなんていられません。
よりよい未来を手渡したい。
その思いが、逆風や壁にさえ向かわせます。
子育て世代こそ、世界を変える力がある!
[クーヨン]はそう確信します。
だって、もう動きはじめている
ママ・パパがこんなに!
ご一緒に、子どもへの愛で
世界を変えちゃいましょう!



「食」
台所に立つ
すばらしさと
尊さを伝えて
いきたい。
奥津爾さん
オウガワクベイス代表
奥津典子さん
マクロビオティック料理研究家

p32

「教育」
福岡県糸島市に
森のようちえんを開園します。
藤田ゆみさん 子育て支援、くらしづくりでも共同代表

p20



「子どもの文化・アート」
絵本のもつ可能性を
広げられたらと
思っています。
さくちちさん 絵本作家

p24



「エコ&ピース」
「自由と平和のための
京大有志の会」を設立し、
自由な議論の空間づくりを。
藤原辰史さん 京都大学准教授

p38



「海外から」
すべての子ども
たちは、公平な
チャンスを受け
取るべきです。
ジャスティン トルドーさん
カナダ第23代首相

p26

このあと、ママ・パパ102人、それぞれの活動内容
子どもの未来へのビジョン、をうかがいました。
お子さんと一緒の愛あふれるお写真も添えて。



「ケア」
葉山で
〃年を重ねるのが
たのしくなる
里山コミュニティ
を実現したい。
大橋マキさん アロマセラピスト

p28



「つながり」
被災地に行って、
お話を聞き、
漫画にする活動を、
行っています。
ひつらごころさん 漫画家

p44

マイナスから プラスへ、 消滅から創造へ

Yaeさん 歌手

- 1 多目的農場でもあり、わがやでもある鴨川自然王国で、「土の学校」を実施しています。大人は座学でお勉強、子どもには里山でごはんをつくりたり、自然に触れたりしてあそべるイベントを、王国の農作業イベントも毎月1回実施。どなたでも参加できますよ！
☎04-7099-9011
http://www.k-senohkoku.com/
- 2 10年後の社会はきっと、いまのマイナス的要素はプラスに転換している。たとえば「消滅集落」から「創造集落」へ。
- 3 子どもの意思を尊重する。子どもの話をできるだけ聞いてあげる。スキミング。



「土の学校」の参加者とともに。



- 1 自民党の改憲案を見て、これでは子どもの未来は真っ暗だと思い、「明日の自由を守る若手弁護士の会」(http://www.asuno-jiyuu.com/)に参加。安保法制成立を目の当たりにして、地元で野党支援の「ミナカナ」(みんなで選挙神奈川 minakanase nkyo@gmail.com)を立ち上げ。また「ミナセン全国連絡会」(minasen2016@gmail.com)という情報交換の場もつくりました。
- 2 50年後の社会はきっと軍隊がなくなる！
- 3 娘の個性を尊重し、どうしたいかを聞き、必要な情報を与え、対話をし、最後は彼女自身に決断してもらっています。

自民改憲案は 止められる！

武井由起子さん

弁護士・明日の自由を守る若手弁護士の会・ミナセン全国連絡会



- 1 世界の国々を放浪した後にニカラグアへ渡り、スラムの子どもたちへ青空アート教室を実施してきました。その後もニカラグアやハイチ、東北などで、子どもたちと大きな壁画を制作する活動をこつこつ続けています。
http://www.rihitomasuyama.com
- 2 50年後の社会は国境がなくなり、きっと地球人として目覚めている！
- 3 できる限り森や海などの自然環境の中で過ごし、自然の恵みやひと、植物、動物とのつながりを感じ取ることを大事にしています。

国境がなくなり、 地球人として 目覚める

ますやま理人さん
アートワーク&写真家



アラスカで撮影中の海南友子監督。

- 1 温暖化に揺れる世界の島を美しい映像で綴った『ビューティフル アイランズ』などで受賞多数。16年3月公開の『抱くHUG!』(ハグ)は、3・11後の出産とエネルギーのあり方について描きました。京都、東京などで公開。
www.kanatomoko.jp/hug/
- 2 100年後は、自然エネルギーで世界が満たされているはず！そのため、きょうできることを考えよう。
- 3 感情的に叱らない。「ママはこう思うけど、きみはどう思う？」と落ち着いて話し合うこと。あと、抱きしめること。やさしい気持ちのときも、つらいときも。

100年後は、
自然エネルギーで
世界が満たされて
いる！
海南友子さん
ドキュメンタリー
監督



『抱くHUG!』(ハグ)の一コマ



放射能から 子どもを 守るために

中山瑞穂さん
NPO法人子ども全国ネット



- 1 子どもたちを放射能から守るために、イベント・ホームページ・SNSを通じて子育て世代が知っておくべき情報を発信。各地の仲間たちとゆるやかにつながる場づくりも続けています。3・11で大きく変わった自身の価値観を信じて、望ましい社会のあり方を模索しています。
http://kodomozenkoku.com
- 2 10年後の社会はきっと「社会的責任を追わない企業」は存続できなくなっている！
- 3 「先取り子育て」をしない。いましめられないことに集中させる。子どもの意志を尊重する。

子どもたちに 「映画館のひとだ！」と 言われるように

平松奈保子さん
シネマカリヨン



- 1 田園都市線堀が谷駅(神奈川県)から徒歩3分の音楽教室のスペースを中心に、映画の自主上映会を不定期に行う。親子一緒にたのしめる映画や、16mmフィルムでの上映など、体験型の上映で地元で根ざした活動を行っている。
http://www.cinema-cation.com/
- 2 5年後のわたしは、この街の子どもたちに、道で会ったら「あ、映画館のひとだ！」と言われるようになっている。
- 3 意識的にたのびさん、ぎゅーっ、ハグして、好きだよと伝えるようにする。



上映のほか、絵本を読んだり、ワークショップを行うことも。



インストラクター合格者のみなさんと。

- 1 すべての世代に向けたタッチケアを広げるために考えた「TouchHug」を伝えています。誰にでも、手と手や気持ちのふれ合いを広げられるように、ワークショップやインストラクターの養成を行っています。家族、恋人、友人たちが想い合える世界のための活動です。
- 2 10年後の社会は、きっとママが罪悪感のない子育てをし、子育てや仕事の仕方にたくさんの選択肢をもつようになっている！
- 3 娘が生まれたときにはじめてベビーマッサージ。いまでも大きくなった娘にやっています。

手と手や気持ちの
ふれ合いを
山本加世さん
NPO法人
mamaka hug



100人以上の 女性に産後ケア プログラムを！

佐橋真希さん

マドレボニータ産後セルフケア
インストラクター



- 1 あかちゃん訪問、ベビーマッサージ、育児相談のほか、小中学校でのいのちの授業の活動をしています。どの活動でも、まずはおかさんが自分を大切にできる気持ちをもてると、子どもにその気持ちが分けられ、本来もっている「ママカ」を発揮できる、ということ伝えていきます。
tomokamw@yahoo.co.jp
- 2 わが子もママになっているかもしれない20年後のわたしは、ママたちに寄り添い、「ママカ」を引き出せる助産師になっている！
- 3 一緒にお風呂に入ったり、寝たり、マッサージをしたりして、からだをあたためること。

自分を愛して
「ママカ」発揮！
加茂友香さん
助産師